

体外受精

調節卵巣刺激:いくつかの卵胞、卵子を育てるための排卵誘発剤の注射や卵子を採る前に排卵がしてしまわないようにする薬などが投与されます。ホルモン検査、エコー検査などで卵子の状態を予測します。

採卵:麻酔をしてエコー画像を確認しながら長い針で膣壁を通して卵巣を穿刺し卵子を採取します。

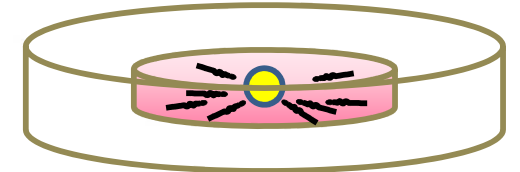
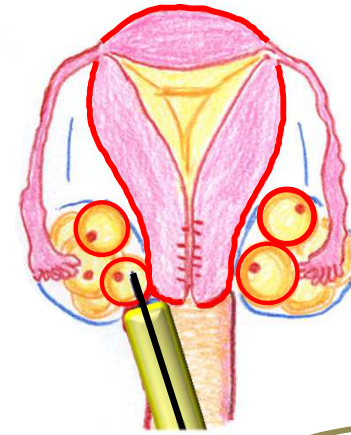
精液の採取:採卵にあわせて夫の精液を採取していただきます。

受精:採取した卵子と洗浄した精子を受精させます。卵子と精子を同じ所に入れてそれぞれの力で自然に近い状態で受精させる一般的な体外受精と、顕微鏡下で精子を卵子に注入する顕微授精があります。

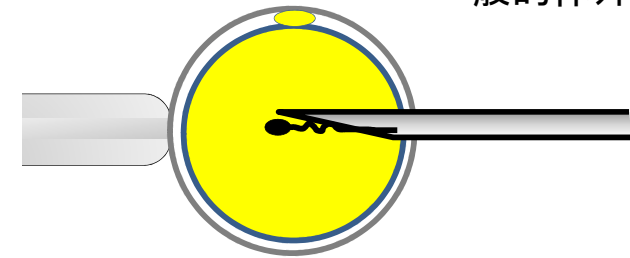
培養:数日間、受精卵(胚)の成長に適した環境で胚を育てます。

胚移植:成長した胚を専用のカテーテルを用いて子宮の中に戻します。

その後、妊娠判定まで妊娠の成立、維持に必要なホルモン剤などが投与されます。妊娠した場合はさらに薬を続けます。



一般的体外受精(c-IVF)



顕微授精(ICSI)

